

志賀原子力発電所 マンスリーレポート (2019年7月分)

2019年8月9日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所の事故・故障等の情報および運転保守情報(2019年7月分)を、下記の通りお知らせいたします。

記

■ 事故・故障等の情報

志賀原子力発電所構内における高圧電源車からの出火について
(7/5、7/26お知らせ済)

■ 運転保守情報

○連絡区分Ⅰ

該当する事象はありませんでした。

○連絡区分Ⅱ

該当する事象はありませんでした。

○連絡区分Ⅲ

志賀原子力発電所1号機タービン補機冷却海水系の配管からの海水漏えいについて
(別紙参照)

以上

別紙：志賀原子力発電所1号機タービン補機冷却海水系の配管からの海水漏えいについて

事故・故障等の情報

法令・安全協定等に基づき、国、石川県、志賀町等関係自治体に連絡しているもの

運転保守情報

法令および安全協定には該当しませんが、連絡基準覚書[※]等に基づき石川県、志賀町等関係自治体に連絡しているもの

※ 連絡基準覚書

石川県、志賀町との間で締結した「志賀原子力発電所における石川県・志賀町への連絡基準に係る覚書」

(参考) 連絡区分Ⅰ：直ちに連絡が必要なもの

連絡区分Ⅱ：区分Ⅰよりも緊急性の程度は低いですが、速やかな連絡が必要なもの

連絡区分Ⅲ：保守情報として定期的(原則、翌月10日まで)に連絡することが適当なもの

志賀原子力発電所 1号機 タービン補機冷却海水系の配管からの海水漏えいについて

志賀原子力発電所 1号機（第 13 回定期検査中）において、2019 年 7 月 22 日（月）14 時頃、1号機海水熱交換器建屋（非管理区域）のタービン補機冷却海水系^{※1}海水ストレーナ(C)逆洗水出口配管^{※2}から海水が漏えいしていることを確認しました。このため、タービン補機冷却海水系を停止し、漏えいは止まりました。

その後、当該配管を取り外し、閉止フランジを取り付け、タービン補機冷却海水系を再起動しました。

漏えいした海水は放射性物質を含んでおらず、本事象による外部への放射能の影響はありません。

調査の結果、当該配管は、乱流が生じやすい配管径変化部であることに加え、海水ストレーナ下流近傍であり海水ストレーナ洗浄のつど洗浄排水に含まれる海生生物等の影響を受けやすいことから、配管内面に施工されているライニング^{※3}が偶発的に損傷し、その後配管内面が腐食したことにより、配管そのものに小さな孔が開き、海水が漏えいしたものと推定しています。

今後、9月下旬を目途に当該配管の交換を実施するとともに、海水ストレーナ下流近傍の配管径変化部についても定期的に点検を実施します。

- ※ 1 タービン補機冷却水系熱交換器へ冷却水として海水を供給し、タービン補機冷却水系の機能を維持する系統。
- ※ 2 海水ストレーナに付着した海生生物等を取り除くため、海水ストレーナの洗浄を実施した際に、その洗浄排水を放水路に導く配管。
- ※ 3 配管内面の腐食を防止するため、ポリエチレン製の樹脂を溶着したもの。

